

自然と文化科

古市古墳群と飛鳥ワイン見学（案内）

2018年1月6日企画委員会

大阪平野の南東部、現在の羽曳野市と藤井寺市にまたがる東西約4km、南北約4kmの中に沢山の古墳群が集中して存在する場所があります。この集まりを「古市古墳群」と呼んでいます。大小合わせ約130の古墳が確認され、今までの研究調査で4世紀後半から6世紀前半にかけての約180年間に造られたことがわかっています。

また、これら古墳群は本年7月末に平成29年度のユネスコへの「世界文化遺産推薦候補」に決定しました。今回は、羽曳野市のガイドさんの案内で古墳群を満喫いただくとともに、見学コース最後には飛鳥ワインで疲れを癒してください。

（昨年10月の企画行事でしたが雨で中止になったため、今年再挑戦します）

開催日時： 平成30年2月23日（金）10:00～15:00

前日夜17時のNHK天気予報の「大阪」**午前の降水確率60%以上**で中止する。

集合場所： 近鉄南大阪線「**土師ノ里**」駅 改札 10:00集合

（大阪阿部野橋駅より準急16分：9:34河内長野行、9:24橿原神宮行）
解散は15:00頃 上ノ太子駅（近鉄南大阪線）

見学内容： 土師ノ里駅～仲姫命陵古墳～応神天皇陵古墳～菅田八幡宮～駒ヶ谷西公園～竹内街道～杜本神社～飛鳥戸神社～観音塚古墳～飛鳥ワイン
上ノ太子駅（解散）

（当日の天候等によっては一部コース変更もあり）

ガイド： 羽曳野市ボランティアガイド 各班に2名を予定

概略費用： **ガイド料：**見学者1名につき100円は自然と文化科で負担

昼 食： 駒ヶ谷西公園（トイレあり）

持ち物： 弁当、飲み物、雨具、保険証など必要なもの。

参加申し込み： 参加希望者は1月末までに、各班企画幹事に申込みください。

以 上

参考；(詳しくは当日資料配布)

1. 応神天皇陵古墳

古市古墳群最大の前方後円墳で、全長425m、後円部直径250m、高さ35m、前方部幅300m、高さ36mもあります。百舌鳥古墳群の仁徳天皇陵古墳(大仙古墳)に次いで2番目の大きさですが、築造に必要な土量は日本一を誇ります。墳丘は三段に積み重ねられ、斜面は一面に石が葺かれています。5世紀前半の築造と考えられています。



2・仲姫命陵古墳

応神天皇陵古墳の北側に築造された墳丘長280mの前方後円墳で、くびれ部両側に造出しがあります。古市古墳群では応神天皇陵古墳に次ぐ大きさです。周囲の狭く深い盾形の濠と幅広の堤はこの古墳の特徴です。5世紀前半の築造と考えられる。

3. 誉田(こんだ)八幡宮

誉田八幡宮は、応神天皇を主祭神とし、古くから応神陵の近くにあって、御陵祭祀を司ってきました。毎年9月の大祭には神輿が、境内にある太鼓橋を渡って御陵の後円部頂上にあつた御堂までお渡りして、盛大な祭礼が続けられてきました。

応神天皇の諱(いみな)は、誉田別尊(ほんだわけのみこと)と呼ばれ、現在の羽曳野市誉田にゆかりがあるとされています。



4. 観音塚古墳

古墳は、標高98mに位置し、以前はブドウ畑として利用されていました。昭和56年に国史跡に指定され、現在では石郭内を見ることができます。7世紀中ごろに築かれたと考えられ、古墳時代終末期の基準となる貴重な古墳です。



4. 飛鳥ワイン

自家農園で栽培されたブドウを用いたワイン製造所。今回は二組に分かれ工場見学とともに、ワイン試飲(一杯300円:個人負担)もできます。



以上